

世界を旅し、弘前学院にたどり着き、学生に愛されてきた宝物

普段、キャンパスで目にしたことのあるモノ、当然のように見てきた風景でも、

この宝物たちが歩んできた歴史や魅力はそれほど語られてきませんでした。

創立131年の一歩を踏み出した弘前学院。今回は初めて、大学生がこれらの解説を行います。

* 弘前学院外人宣教師館(国宝文)

1906年、弘前女学校に奉職していたアメリカ婦人宣教師のための住居として、同校敷地内(現在の弘前市坂本町)に建設され、戦時下を除き1968年まで実際に宣教師が暮らしていました。全国に残る宣教師館の中でも規模が大きく、当時の建築様式を知る上でも重要なものとして、1978年に国指定重要文化財に指定されました。後に現在の場所に移築され、歴史を語り続けています。

* ステンドグラス

ドイツ・ミュンヘンのフランツ・マイヤー社工房の作品で、1905年から2年の歳月をかけて制作されました。「ミュンヘンガラス」と言われる質の高いものです。アメリカのミシガン州の教会で長年愛されてきたもので、2000年の礼拝堂建設時に移設されてきました。

* 青い目のお人形

日米の関係が悪化していた1926年に、子ども達の友情による世界平和と日米関係改善を目的として、アメリカから全国の幼稚園・小学校に人形が贈られました。しかし戦時下で「敵国のスパイ」と扱われ処分されてしまい、現在、全国で発見されているものは多くありません。弘前女学校附属の愛光幼稚園に贈られた「エリザベス・ハットン」は1986年に新聞にくるまれた状態で発見されました。

弘前学院大学に車を置いて、日本一の桜咲く弘前城へ！

4月29・30日、5月3～7日は正門前駐車場を無料開放します。

大鷗線に乗って弘前城へ行くと、渋滞にあわない上にお得がいっぱい！

弘前学院大学

徒歩3分

弘南鉄道大鷗線
弘前学院大前駅

乗車4分

210円

中央弘前駅



時 中央弘前行き

8	14 44
9	14
10	14 54
11	54
12	54
13	54
14	54
15	54
16	54
17	54
18	34
19	14 54

降車時に乗車証明書を
受け取ってください。

弘前公園(弘前城)

乗車証明書で弘前城の
有料区域(通常310円)に
無料で入れます!!



時	大鷗行き
9	00 30
10	30
11	30
12	30
13	30
14	30
15	30
16	30
17	30
18	10 50
19	30
20	30

乗車4分 210円

最勝院や変電所跡(富士見町)
の桜を眺めながら、お散歩で約40分

徒歩3分

【無料開放】4月29・30日、5月3～7日
8:30～21:00(夜間施設)
監視・事故の責任は負いません

弘前学院大前駅